

令和6年度第1回山形市男女共同参画センター運営委員会会議録

日 時 令和6年5月24日（金） 14時00分～15時5分

場 所 山形市男女共同参画センター5階 視聴覚室・研修室2

I 出席者

【委員】佐藤慎也委員、村山理香委員、阿部由希委員、川合芳光委員、佐藤知恵委員、
関原あずみ委員、高瀬謙治委員、中嶋愛委員、長尾景子委員、横尾峰子委員

【事務局】伊藤企画調整部長、高橋男女共同参画センター所長、遠藤副所長、板垣係長、
大石主査、後藤主査、石澤運営事務員

II 傍聴者 0名

III 会議

- 1 開会 遠藤副所長
- 2 委嘱状交付 伊藤部長より
- 3 企画調整部長あいさつ 伊藤部長
- 4 委員自己紹介・職員紹介 各委員より・遠藤副所長より
- 5 正・副委員長を選任 委員長：佐藤慎也委員、副委員長：横尾峰子委員を選出
- 6 正・副委員長あいさつ 佐藤慎也委員長、横尾副委員長よりあいさつ
- 7 議事
 - (1) 報告
令和5年度事業報告について 事務局
 - (2) 協議
令和6年度事業計画（案）について 事務局
- 8 その他
- 9 閉会 遠藤副所長

【審議経過】

(1) 報告

令和5年度事業実施状況について、事務局から資料に基づき説明があった。

(委員) 「Women's Campus 山形」の取組について、企業版ふるさと納税の特例措置が今年度いっぱいのはずですが、今後、資金面や人材の面などで、山形市とリディラバが独自に続けていけるようなプロジェクトなのかどうか、できれば続けて欲しいと思っているがどう考えていますか。

(事務局) 令和4年度・5年度は資生堂ジャパン様から企業版ふるさと納税をご寄附いただき、リディラバのサポートを得て、事業を進めましたが、事業費も含め、もともと山形市で自走、自立するという目標を立ててやってまいりました。

今年度は、リディラバからのサポートは受けずに、また事業費は、国からの交付金を活用しまして、山形市独自で事業を開始しております。

しかし、すべてを山形市職員のみで運営していくことが難しいので、市内の企業様や昨年、一昨年の「Women's Campus 山形」の参加者の方々など地元の人的資源などの繋がりを活用して、事業を実施していく予定になっております。

(委員) いい形で引き継ぎができたと感じます。

(2) 協議

令和6年度事業計画(案)について、事務局から資料に基づき説明があった。

(委員) 働く女性の講座について、テーマも日程も悪くはないと思うが、受講者が著しく少なかった。その原因についてどう考えていますか。

(事務局) オンライン会議システムは、生活上も仕事でも使う機会が増えていることから、講座を通して、ぜひ多くの方から使えるようになっていただきたいという思いを込めて、また、3年度・4年度も実施しており、その際受講者の方から好評を得たこともあり、基本編と参加編に分けて企画しました。

受講者が少ない原因のひとつとして、使い方がある程度浸透しているものと考えております。コロナ禍を経て、様々なIT関係のツールに馴染んだ方も多くなってきており、今後は、次のフェーズに対応できるような内容についても検討しております。

(委員) 小・中学校向けの出前講座について、日本の場合、指導要項に避妊の方法というのが入っていないようで、その部分を男女共同参画センターで補うわけではないと思いますが、例年突っ込んだテーマで、出前講座を実施しているように感じます。今年度は、講師にお任せするのか、こういうテーマでお願いしますと依頼しているのか教えてください。

(事務局) 各学校から大変好評を得ており、開催を希望する学校が大変多い状況です。

中学校向けの講座であれば、今後自分が大人になって生活していくために、小学校とは違った実生活でも役に立つような内容を取り上げている状況です。

内容につきましては、学校の先生と講師と男女共同参画センター職員の3者で、綿密に打ち合わせをし、対象の学年なども考慮しながら学校ごとにそれぞれテーマを決めて、実施している状況です。この講座は、情報提供の1つのツールとして効果をあげていると思っておりますので、今後も学校との連携を密にしながら進めていきたいと考えております。

(委員) 確かに学習指導要領には、そのような内容はありません。

以前、身体的な成長期の課題において、下着の指導をしたことがありました。その際、保護者の方から、家庭で話題にしたかったとお話をいただいたことがありました。家庭で話題にできることは子どもにとっても安心すると思います。また、自分の子どもと向き合って考えたいというご家庭もあることがわかりました。

また、大学生と話す機会があり、ライフスタイルに関する話をしたときに、自分の身体のことについてもう少し早い時期に正しく教えてもらえるとよかったといわれたことがあります。

そのため、学習内容についてはご家庭にもご理解・ご協力をいただきながら指導をしていくことが大事です。

(委員) 7市7町連携について、その交流の状況が見えてきませんが、どのような対応をしていますか。

(事務局) 村山地域の7市7町の中で、男女共同参画の拠点施設があるのは、山形市だけです。他市町の関連事業に参加するというのも不可能ではございませんが、実際は、7市7町の住民の方が山形市の男女共同参画センターで開催する講座を受講されたり、相談を受けられる機会が多い状況です。

なお、全ての事業について、7市7町の住民の方向けに各担当部署を通じてお知らせしております。

(委員) 地域連携も非常に大切で、先ほどの小・中学校への出前講座についても徐々に広がっているというのは、非常に良いことだと思います。

(委員) 自主講座について、今話題のものを取り上げるなど多岐に渡っているが、どのように企画していますか。

(事務局) 男女共同参画の意義も年々変化しており、市民の皆様のニーズをなるべく多く講座に反映させようと、職員一人一人が心がけております。

なお、運営委員の皆様方からも忌憚のないご意見や講座に関するご提案をお寄せいただきたいと思います。